

学校だより < 考える子 たくましい子 思いやりのある子 >



あかばね

第11号 令和7年1月10日(金)



仕上げの3学期 希望に満ちてスタート!



校長 篠崎 佳昭

新年明けましておめでとうございます。2025年がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。始業式では、子どもたちの元気な顔を見ることができました。冬休み中、子どもたちが大きな事故やけがもなく過ごせたことは、何よりだと思っています。そして、子どもたちに冬休みの思い出を聞いてみると、「親戚と過ごした」「旅行に行った」「お餅をついた」など、それぞれの御家庭で楽しく過ごしたことも分かりました。始業式では、今年の干支「巳」は、蛇のことで、蛇は脱皮することから「新しく生まれてくる」「将来・未来がある」という意味があり生命力や再生、変化と進化の象徴であることを紹介し、こうした意味から、何事にも挑戦し、うまくいかなくても工夫を加えながら取り組み、経験を積み重ねて「新しい自分を発見、新しい自分を作り出す」2025年にしてほしいことを話しました。さらに、6年生は卒業と進学、1年生から5年生は進級に向けて、「次につなげるために挑戦すること」について話をしました。

3学期は、学校も仕上げの学期となります。学校教育目標の具現化のための総仕上げと、御協力いただきました学校評価の結果を検証し、さらに地域・保護者の皆様の願いに応えられる学校を目指してまいります。今後とも、御理解と御支援をよろしくお願いいたします。



3学期の学習について



2学期の児童アンケートの結果を踏まえて、学習指導主任から児童に学習のアドバイスがありました。本校児童の家庭学習の状況は、きちんと宿題に取り組むことができる割合は比較的多いですが、さらに、復習を中心に自分で計画を立てて学習に取り組む(宿題に自主学習を加えて取り組む)児童が増えると、さらに学習の定着が図られるとアドバイスがありました。学校でも家庭学習への取組について支援していきますので、御家庭でもお子様と話し合っただけければ幸いです。

ホームページは
こちらから!

赤羽小合言葉 「キラリ赤羽! みんななかよし 学び合い」
～「あかばねプライド」(あいさつ 感謝 場を整える 粘り強く)～

